

心臓核医学検査：心筋シンチグラフィ

- 短時間で体から消失する安全な放射性物質を注射し、心臓の筋肉(心筋)に取り込まれていく様子を体の表面から撮影してコンピューター処理をします。放射性物質の種類によって、心筋の血のめぐり(心筋血流)や動き(壁運動)、活動性(脂肪酸代謝)、心臓交感神経の状態などを三次元表示します。狭心症の診断にはエルゴメータ(車輪のない床に固定した自転車)をこいで頂いたあと、仰向けに寝た姿勢で運動直後と3時間後の2回撮影をして心筋血流を比較します。一回の撮影時間は約20分です。

